



NPO法人日本上流文化圏研究所

主任研究員 鞍打大輔さん

早川町の第4次総合計画「日本・上流文化圏構想」の中核的施策として設立された日本上流文化圏研究所。「早川の良さを守り、早川で暮らし続けるために」をコンセプトに、様々な事業を展開、成果を上げている。主任研究員の鞍打さんに研究所で取り組んでいる事業の概要とその効果についてご紹介いただいた。

人に頼らず自発的に動き出してみよう。

# 早川町のまちづくりの根底にあるのは、「住民の一人一人こそ資源」という考え方

NPO法人日本上流文化圏研究所の様々な取り組みは、早川町活性化の起爆剤となっています。

## 日本上流文化圏研究所の位置づけと、与えられた使命。

早川町の第4次総合計画「日本・上流文化圏構想（平成6年～15年）」のシンボル施策として、日本上流文化圏研究所は発足しました。

平成8年に早川町役場内に設立され、平成18年、NPO法人として独立しました。現在、常駐スタッフ4人を中心に、町民・大学の先生・民間企業のスタッフ・まちづくり活動家・学生など、多くの力によって支えられ活動を行っています。

日本上流文化圏構想に含まれるメッセージ（下参照）の「都市追従型地域づくりの反省」、「先人の知恵に学ぶ生活スタイルの提唱」、「上流域の存在意義確立」を実践、具現化するという使命を持って数々の取り組みを行っています。

代表的な活動として、日本上流文化圏会議の開催（宮崎県五ヶ瀬町、北海道ニセコ町、静岡県川根本町

地域にあるものを活かし、埋もれた資源を掘り起こす。

研究所のためまぬ努力は、今、多くの実を結び始めている。

《旧本川根町》があります。それぞれの地域において、地域資源の再生や上流圏の活性化について議論し、交流を深めました。

## 町の元気を掘り起こす。対話と交流による地域づくりの実践。

早川町内においては、町民全員を主役と捉えた「2000人のホームページ」の企画運営や、早川町を題材とした調査研究に資金や滞在場所の支援を行う「学生研究員助成制度」、住民自らが行う地域の素材を使った商品開発や起業を支援する「あなたのやる気応援事業」などを実践しています。

2000人のホームページプロジェクトでは、現在までに約1000人の町民に取材を敢行し、実際にホームページ上に登場していただいています。学生研究員助成制度では、これまで7大学17人の学生が研究を実施し、のべ22本の論文が提出され、

実際に早川町の施策に盛り込まれている論文もあります。あなたのやる気応援事業では、住民の自主性・主体性を尊重する完全公募制を採用しており、3年間の取り組みで、24の企画が審査を通過し、実際に活動しています。現在、夢の実現に向けて、それぞれのプロジェクトが進行中です。

## 町にはなにかやってみたい人がたくさんいる。研究所の役目はその背中を押してあげること。

これらの事業は、早川に住む人た

ちこそが資源と考えることで、初めて成り立っています。住民自らに手を挙げてもらい、もちろん責任も請け負ってもらおう。研究所は資金的な支援はもちろん、情報の提供や人材の紹介、一緒になって知恵を絞る汗も流します。

地域には何かやってみたい、起こしてみたいと考えている人がたくさんいます。しかし、資金や地域のしがらみ、労力などを心配すると、なかなか第一歩を踏み出せないのも事実です。研究所は、そのきっかけづくり、背中を押してあげる役目を担いたいと考えています。

## 日本・上流文化圏構想が放つメッセージ

◆都市追従型の地域づくりの反省（地域への問いかけ）  
都市と同じになれるわけがない。なろうとすればするほど地域が本来持つ良さを失っていく。ないものねだりからあるもの探しへと考え方を転換しなければならぬ。

◆先人の知恵に学ぶ生活スタイルの提唱（社会全体への問いかけ）  
持続可能な社会をつくるためには、ライフスタイルの見直しをする必要がある。自然と共生してきた先人の生活の中には、現代社会にも通じる様々な生活の知恵や技術があるはずだ。

◆上流域の存在意義の確立（国・都市・山間地域への問いかけ）  
上流域（農山村）の生活が保たれないと、下流域（都市部）の生活が成り立たない。国土保全の意味からも、お互いが役割分担のもと、共存共栄できる環境整備が必要である。

現在進行中の、新総合計画シナリオ施策「早川フィールドミュージアム事業※」では、地域そのものが魅力ある資源との考えを基本とし、昔からあるものを掘り起こし見直すことで、これまで気がつかなかった新しい価値を生み出そうとしています。研究所で実践している様々な事業は、自発的な地域づくり活動の支援にとどまらず、最終的には、行政に頼らない住民自治・地域経営の仕組みを育てるための取り組みです。

※フィールドミュージアム事業  
地域の歴史や文化を、地域の人たち自らが学び保存・継承に努める博物館活動のこと（次ページ参照）